

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（6月分）

留学先大学：ルーマニア・アメリカ大学

氏名：福井理文

- 6月入って初日は、遂に初めてルーマニアを観光しました。アジアセンターの何人かと行きましたが、現地の人と旅行すると成長はないけどすごく楽ですね。旅行といえば、今月は長田君と初めて二人で旅行しました。この時も道なんかは長田君に頼って特に成長しませんでした。良くないですね。
6月はルームメイトも去り始め、暇な時間が増えてきました。しかし！去っていった他の日本人学生が残っていてくれた物のおかげで様々な変化が起きました。
振り返ります！
- ルームメイトが残してくれたもの編
何度か書きましたが、ルームメイトの一人は日本人だったのですが、コミュニケーションにおいて色んなことを学びました。特に直接教わったわけではないですが(笑)。一緒にいて凄いなと思ったのは積極的にどんどん英語でコミュニケーション取ってる所でした。気づいたんですが、僕は日本人とネイティブの前だと英語話すのに余計緊張します。余計に間違ったら嫌という意識が出るというか。それに関してはルームメイトも同じことを言っていました。でも彼はそんなこと全然気にしてる様子無く話すし、ネイティブ相手でも、ちょっと詰まってもゆっくりでいいからちゃんと伝えようとするところが凄いなと思いました。確かに、他の日本人が英語で他の外国人に積極的に話しかけてたとしても、自分英語へたくそやなあ、とか思わないので、積極的に気にせずどんどん使っていこうと思いました。正確さではどうせネイティブには勝てないので、レスポンスの速さと伝わっているかどうかを重視しようと思いました。
- ブカレスト大学の方が残してくれたもの編
何と言っても IH コンロと多少の調味料を譲ってもらえたのが最高に嬉しかった。今までの外食や出前ばかりの偏った高い食事が抑えられるのは最高。でも寮は自炊禁止なので、管理人にばれたらどうなるか分からないので気を付けて使わないといけないんですが。
- 6月終盤に起こった突然の出来事
ルームメイトが最初に払った敷金を管理人から返してもらうために部屋チェックしに来てもらった時、君たちはいつ帰るの？と聞かれ、僕はまだ半年以上いると言うと、8月にこの寮開いてないけどどうするの？と言われました。張り紙もなければ事前の

告知も何もなかったのに知らなかったの？と言われて少しイラッとしました。こちらの大学の国際課の人に尋ねてもそんなの知らなかった！と言って、現在色々どうすればいいか調べてくれているようです。閉まるのは8月だけで、その間は隣の大学の寮に住むことになりそうです。他の大学がどうかは知りませんが、大事な筈の寮の運営がかなり、というか滅茶苦茶適当な気がします。その管理人は今までも大丈夫かと思うようなことあったので。と、ただの愚痴ですが(笑)

折角の長期休み、無駄にしないように過ごしていきたいと思います。



左が僕の足。下がアメリカ人の足。僕の足は青い袋にしっかり入ってるけどアメリカ人の足袋突き破ってるっていうだけの写真。ちなみにこれはシナイアっていうところ観光した時に撮った写真。

